

目 次

研究班の構成	-----	1
I. 総括研究報告		
気候変動に伴う水道システムの生物障害等リスク評価 とその適応性の強化に向けた研究	-----	3
秋葉道宏		
II. 分担研究報告		
1. シアノトキシンに関する文献調査	-----	11
秋葉道宏, 浅田安廣, 佐野友春		
2. 気候変動条件下における障害生物発生ポテンシャル評価	-----	17
秋葉道宏, 藤本尚志, 浅田安廣		
3. 障害生物およびその代謝産物の発生メカニズムの解明	-----	43
秋葉道宏, 浅田安廣, 清水和哉, 西村修, 藤本尚志		
4. 衛星データと機械学習アルゴリズムを活用したダム湖の 藻類異常発生予測モデルの構築	-----	79
西村修, 佐野大輔, 三浦耀平		
5. 藻類増殖に影響を与える環境因子サブモデルに関する研究	-----	87
秋葉道宏, 下ヶ橋雅樹, 西村修, 浅田安廣, 佐野大輔		
6. 障害生物発生時における分析方法の開発と 効率的な浄水処理システムの提案	-----	101
秋葉道宏, 高梨啓和, 藤原俊一郎, 北村壽朗		
7. 精密質量分析による藻類由来有機物の検知に関する検討	-----	109
秋葉道宏, 越後信哉		
8. 気候変動により生じる生物障害等リスク に対する対応策の検討	-----	117
柳橋泰生		
9. 気候変動への適応を考慮した水安全計画の改善	-----	125
小坂浩司		
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	-----	131

